

令和3年度 性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)に関する調査結果(概要)

資料2



対象・項目設計

【対象】全国男女20-60代 10,330人(男性5,069人 女性5,165人 その他96人)

【項目設計】本調査の設計にあたり事前調査を実施した。性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験などの具体事例を自由回答で聴取し、整理・分類のうえ、本調査の測定項目とした。

1 性別役割意識(全体)

- 性別役割について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で聞いたところ、男女共に上位2項目は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が5割前後の高い割合となった。
- 男女差が大きく開いたのは「男性は～べきだ」という項目であるが、その他の項目についても全体的に男性が高い割合となった。

性別役割に対する考え					
			(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計)		
			男女両方で上位10位に入っている項目		
男性 上位10項目	回答者数：5069	(%)	女性 上位10項目	回答者数：5165	(%)
1 女性には女性らしい感性があるものだ		51.6	1 女性には女性らしい感性があるものだ		47.7
2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		50.3	2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ		47.1
3 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		37.3	3 女性に感情的になりやすい		36.6
4 女性に感情的になりやすい		35.6	4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		30.7
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		31.8	5 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		23.8
6 男性は人前で泣くべきではない		31.0	6 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病すべきだ		23.2
7 男性は結婚して家庭をもって一人前だ		30.3	7 家事・育児は女性がするべきだ		22.9
8 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		29.8	8 組織のリーダーは男性の方が向いている		22.4
9 家事・育児は女性がするべきだ		29.5	8 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい		22.4
10 家を継ぐのは男性であるべきだ		26.0	10 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		22.1

異性に対する思い込みだけではなく、男性・女性自身も無意識のうちに自身で(異性より)強く思い込んでいることもある。

令和3年度 性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) に関する調査結果 (概要)

2 性別役割意識(シーン別)

- 家庭・コミュニティシーンでは、男性の方が仕事と家事の分担に関して、性別役割意識が強い。
- 職場シーンでは、男女とも1位の「育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきではない」との意識が強い。

家庭・コミュニティシーンでは、男女とも5位以内に仕事と家事の分担に関する3項目が入るが、男性の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高かった。

性別役割に対する考え<シーン別>

(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計)

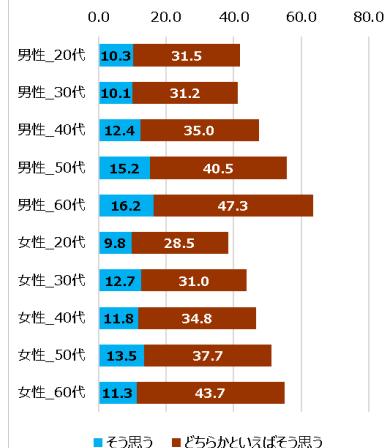
家庭・コミュニティ			
男性 上位5項目	(%)	女性 上位5項目	(%)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	50.3	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	47.1
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	37.3	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	23.8
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.3	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	23.2
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	29.8	家事・育児は女性がするべきだ	22.9
家事・育児は女性がするべきだ	29.5	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	22.1
職場			
男性 上位5項目	(%)	女性 上位5項目	(%)
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	31.8	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	30.7
組織のリーダーは男性の方が向いている	25.7	組織のリーダーは男性の方が向いている	22.4
受付、接客・応対(お茶だしなど)は女性の仕事だ	25.1	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	22.4
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	23.5	受付、接客・応対(お茶だしなど)は女性の仕事だ	20.1
職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	22.2	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	16.9

3 性別役割意識(性・年代別)

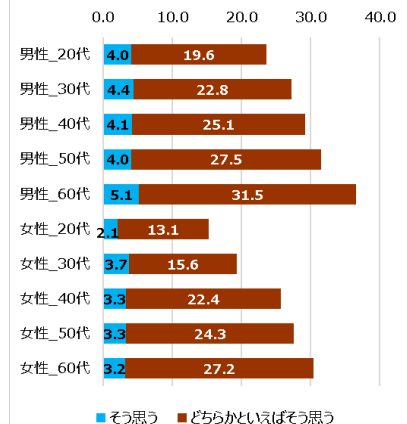
家庭・職場

- 男性50-60代で性別役割意識が強い(P8)
⇒「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」は、女性でも年代が高いほど性別役割意識が強い。
- 20-30代の男女間で性別役割意識にギャップがある(P9)
⇒「共働きでも男性は家庭より仕事を優先すべきだ」は、若い世代での意識の差が大きい。

【男性は仕事をして家計を支えるべきだ】



【共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ】



令和3年度 性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) に関する調査結果 (概要)

4 性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験

直接・間接経験 メディアの影響

- 性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験は、「直接言われた経験」よりも「言動や態度から感じた経験(間接経験)」の方が多い。(P13、14)
- 男性より女性の方が、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験があると回答している割合が高い。(P13、14)
- 50代-60代女性で、性別に基づく役割や思い込みの決めつけを「感じてきた」割合が高い。(P15)
- 性別役割や思い込みについて「直接言ったり、言動や態度から感じさせた」人としては、男性では「父親」「男性の知人・友人」が、女性では「配偶者・パートナー」が多く、職場シーンにおいては、男女とも「男性の職場の上司」が多い。(P17)
- メディアで見たり聞いたりすることが多いのは、「女性は感情的になりやすい」「女性は論理的に考えられない」。(P29)

直接言われたり聞いたりしたことがある				男女両方で上位10位に入っている項目			
男性 上位10項目		(%)		女性 上位10項目		(%)	
1	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	14.2		1	女性は感情的になりやすい	19.9	
2	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	13.6		2	女性には女性らしい感性があるものだ	17.2	
3	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	13.1		3	家事・育児は女性がするべきだ	16.9	
4	男性は人前で泣くべきではない	12.5		4	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	16.3	
5	女性には女性らしい感性があるものだ	11.5		5	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	15.7	
6	女性は感情的になりやすい	11.3		6	家を継ぐのは男性であるべきだ	15.4	
7	家を継ぐのは男性であるべきだ	11.1		7	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	15.1	
8	家事・育児は女性がするべきだ	9.4		7	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方がよい	15.1	
9	男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	8.8		9	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	14.9	
10	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	8.7		10	女性は論理的に考えられない	14.0	

直接ではないが言動や態度からそう感じたことがある							
男性 上位10項目		(%)		女性 上位10項目		(%)	
1	家事・育児は女性がするべきだ	22.5		1	家事・育児は女性がするべきだ	31.8	
2	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	21.3		2	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	26.7	
3	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	20.5		3	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	26.2	
4	男性は結婚して家庭をもって一人前だ	20.2		4	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	26.0	
5	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	19.6		5	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	25.8	
6	女性は感情的になりやすい	19.5		6	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方がよい	25.3	
7	女性には女性らしい感性があるものだ	19.4		7	女性は感情的になりやすい	24.3	
8	家を継ぐのは男性であるべきだ	18.7		8	家を継ぐのは男性であるべきだ	23.9	
9	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	18.6		9	実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	23.8	
10	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	18.6		10	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	23.6	

性別役割を言ったり、言動を感じさせた人

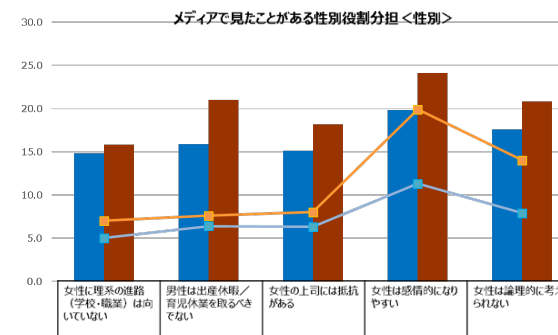
男性			36項目中	
父親	1位に上げられた項目数	27項目		
男性の知人・友人	2位に上げられた項目数	25項目		
男性の職場の上司	3位に上げられた項目数	14項目		
母親	3位に上げられた項目数	10項目		
女性			36項目中	
男性の職場の上司	1位に上げられた項目数	13項目		
配偶者・パートナー	1位に上げられた項目数	10項目		
	2位に上げられた項目数	14項目		
父親	1位に上げられた項目数	7項目		

■メディア計：「テレビや雑誌、インターネットなどのメディアで見たことがある」の回答割合

■直接：「直接言われたり聞いたりしたことがある」の回答割合

(数字は%)

男性 n=5069
女性 n=5165



令和3年度 性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) に関する調査研究

調査結果

令和3年9月30日
内閣府男女共同参画局



目次

調査実施概要	2
設問設計の概要	3
測定項目	4
回答者属性	5
性別役割意識（全体）	6
性別役割意識（シーン別）	7
性別役割意識①＜性・年代別・家庭・職場＞	8
性別役割意識②＜性・年代別・家庭・職場＞	9
性別役割意識③＜性・年代別・職場＞	10
性別役割意識④＜役職別・職場＞	11
性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験①＜家庭・職場＞	13
性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験②＜家庭・職場＞	14
性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験③＜性・年代別＞	15
性別役割を感じさせた人＜性・本人との関係属性＞	17
性別役割経験～自由回答より～①＜家庭_測定項目＞	18
性別役割経験～自由回答より～②＜家庭_測定項目＞	19
性別役割経験～自由回答より～③＜家庭_測定項目以外＞	20
性別役割経験～自由回答より～④＜職場_測定項目＞	21
性別役割経験～自由回答より～⑤＜その他_測定項目＞	22
性別役割経験～自由回答より～⑥＜職場/その他_測定項目以外＞	23
地域における性別役割経験①＜女性～地域からの移動有無＞	24
地域における性別役割経験②＜性別・住民のつながりの強さ＞	26
地域における性別役割経験～自由回答より～	28
メディアにおける性別役割の影響	29
別添資料＜全項目の男女別スコア＞	

調査実施概要

【調査目的】 アンコンシャス・バイアスについて、気づきの機会を提供し、理解を促すことでその解消を図る。

【対象者条件】 全国男女20代～60代

【調査手法】 インターネットモニターに対するインターネット調査

【回収数】 10,330人

【調査期間】 令和3年8月13日（金）～8月18日（水）

【サンプル設計】 全国を北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄の9地域とし、地域ごとに「政令指定都市」「中核市」「人口10万人以上の市区町村」「人口10万人未満の市区町村」の4層で分けた。上記9地域×4層の36分類の中で性別、年代（20代～60代）を均等に回収する設計とした。

【調査項目設計】 本調査の設計にあたり事前調査を実施した。
事前調査では、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験などの具体事例を自由回答で聴取した。
収集した自由回答を整理分類し、本調査の測定項目とした。

事前調査の実施概要

調査回収数（18歳以上）1,028人（男性507人 女性521人）

対象地域 全国

実施期間 令和3年5月24日（月）～5月31日（月）

【調査実施機関】 株式会社日経リサーチ

【分析時の考慮】 性別「その他」を選択した回答者数は、96人（全体の0.9%）であり、全体の集計結果には、性別「その他」の回答者を含む。本調査では、男性と女性の意識や経験について分析することを目的としているため、図表等では、「その他」の回答者の表示は、省略している。

設問設計の概要

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は、誰もが潜在的に持っている思い込み。

本調査では、家庭・コミュニティ領域と職場領域での性別役割、その他性別に基づく思い込みの36項目について、回答者には、最初に自分の考えにあてはまるかどうか聞き、その後、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験を聞いている。36の測定項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で聞いたところ、本調査の**回答者全体の76.3%**が、**1つでも「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答している**。

一方で、『**アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）**』という言葉の認知度は**21.6%**に留まる。

設問の構成（測定項目は次頁に掲載している）

性別役割意識

- 測定項目に対する自身の意識（回答肢：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階）

性別に基づく役割や 思い込みを 決めつけられた経験

- 測定項目について、直接または間接的に性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験の有無
 - 【直接】直接言われたり聞いたりしたことがある
 - 【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
 - 【メディアによる影響】テレビや雑誌、インターネットなどのメディアで見たことがある
- 直接または間接的な経験があることについて、それを言ったり、感じさせた人

属性設問

- 基本属性（性、年代、職業等）
- 成長過程での影響を分析するために、中学入学時点での居住地、地域のつながり、家族構成、親の働き方等を聞いている

測定項目

(全項目の男女別スコアは別添資料参照)

家庭・コミュニティ領域	職場領域	その他
家事・育児は女性がすべきだ	組織のリーダーは男性の方が向いている	女性は感情的になりやすい
男性が洗濯物を干すのはみっともない	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	女性は論理的に考えられない
家を継ぐのは男性であるべきだ	事務作業などの簡単な仕事は女性がすべきだ	男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ	男性は人前で泣くべきではない
結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	女性には女性らしい感性があるものだ
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い	
共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	営業職は男性の仕事だ	
学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いている	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	
女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	
男性であればいい大学を出て出世を目指すべきだ	転勤は男性がするものだ	
PTAには、女性が参加するべきだ	男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	女性の上司には抵抗がある	
自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	同程度の實力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ	
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない	
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		

回答者属性

回答者数 10,330

性別

男性	女性	その他
5,069	5,165	96
49.1	50.0	0.9

年齢

20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳
694	1,277	859	1,146	879	1,202	1,154	980	1,315	824
6.7	12.4	8.3	11.1	8.5	11.6	11.2	9.5	12.7	8.0

上段：実数

下段：%

未婚の別

法律婚	事実婚	パートナー と暮らして いる	離別	死別	未婚
5,221	300	116	603	163	3,927
50.5	2.9	1.1	5.8	1.6	38.0

職業

正規雇用					非正規雇用			自営業・自由業	家業手伝い	農林漁業	内職	その他	学生	無職
正規雇用計	企業にお勤め（正社員）	その他法人団体にお勤め（正社員正職員）	官公庁・地方公共団体にお勤め（正職員）		非正規雇用計	お勤め（嘱託、契約社員など）	お勤め（派遣社員、パート・アルバイト）							
4,269	3,364	414	491		2316	471	1,845	644	239	49	60	343	281	2,129
41.4	32.6	4.0	4.8		22.5	4.6	17.9	6.2	2.3	0.5	0.6	3.3	2.7	20.6

現在の居住地

北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄
1,122	1,153	1,433	1,140	1,160	1,142	1,159	859	1,162
10.9	11.2	13.9	11.0	11.2	11.1	11.2	8.3	11.2

現在の居住地（人口区分別）

政令指定 都市	中核市	人口10 万人以上	人口10 万人未満	東京23 区
2,322	2,582	2,565	2,575	286
22.5	25.0	24.8	24.9	2.8

性別役割意識（全体）

- 性別役割について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で聞いた。
- 男性女性ともに上位2項目は、5割前後の高い割合となった。
- 上位10項目のうち9項目は、男性の方が高い割合となった。
- 男女差が大きく開いたのは、「男性は～べきだ」という次の4項目。
 「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」（男性37.3%、女性22.1%）
 「男性は人前で泣くべきではない」（男性31.0%、女性18.9%）
 「家を継ぐのは男性であるべきだ」（男性26.0%、女性15.6%）
 「男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ」（男性20.2%、女性10.3%）

性別役割意識

（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の合計）

 男女両方で上位10位に入っている項目

男性 上位10項目		回答者数：5069	(%)
1	女性には女性らしい感性があるものだ		51.6
2	男性は仕事をして家計を支えるべきだ		50.3
3	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		37.3
4	女性は感情的になりやすい		35.6
5	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		31.8
6	男性は人前で泣くべきではない		31.0
7	男性は結婚して家庭をもって一人前だ		30.3
8	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		29.8
9	家事・育児は女性がするべきだ		29.5
10	家を継ぐのは男性であるべきだ		26.0

女性 上位10項目		回答者数：5165	(%)
1	女性には女性らしい感性があるものだ		47.7
2	男性は仕事をして家計を支えるべきだ		47.1
3	女性は感情的になりやすい		36.6
4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない		30.7
5	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ		23.8
6	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ		23.2
7	家事・育児は女性がするべきだ		22.9
8	組織のリーダーは男性の方が向いている		22.4
8	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい		22.4
10	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ		22.1

性別役割意識（シーン別）

- 家庭・コミュニティシーンでは、女性より男性の方が仕事と家事の分担に関して性別役割意識（「そう思う」傾向）が強い。
- 職場シーンでは、男女とも1位の「育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない」との意識が強い。

性別役割意識をシーン別に上位5項目を見たのが下表。

家庭・コミュニティシーンでは、男女とも5位以内に仕事と家事の分担に関する項目「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」「家事・育児は女性がするべきだ」が入るが、3項目とも女性より男性の「そう思う」の回答が多く、男性の方が仕事と家事の分担に関して、性別役割意識が強い。職場シーンでは、「お茶くみ」に関する項目も上位に入る。

性別役割意識＜シーン別＞

（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計）

家庭・コミュニティ

男性 上位5項目	(%)	女性 上位5項目	(%)
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	50.3	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	47.1
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	37.3	共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	23.8
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.3	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	23.2
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	29.8	家事・育児は女性がするべきだ	22.9
家事・育児は女性がするべきだ	29.5	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	22.1

職場

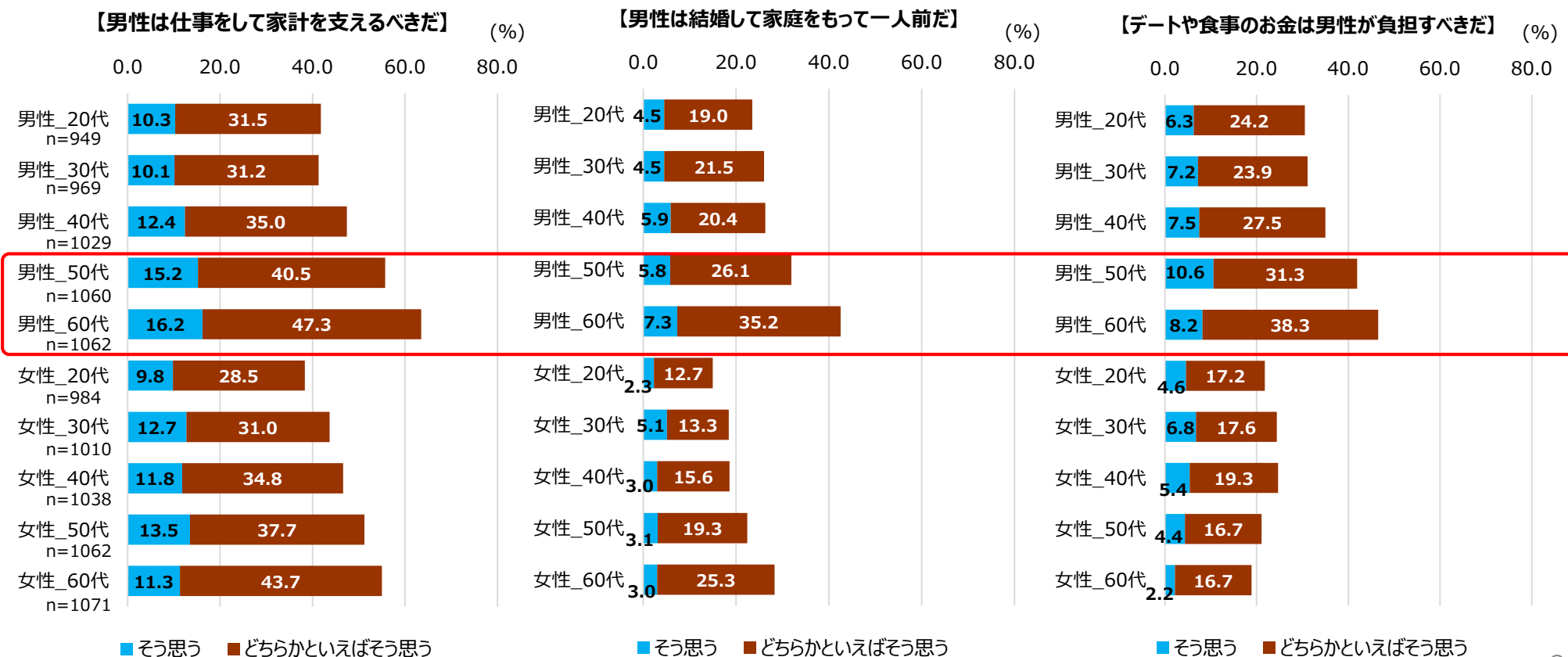
男性 上位5項目	(%)	女性 上位5項目	(%)
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	31.8	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	30.7
組織のリーダーは男性の方が向いている	25.7	組織のリーダーは男性の方が向いている	22.4
受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	25.1	大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	22.4
大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	23.5	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	20.1
職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	22.2	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	16.9

性別役割意識① <性・年代別・家庭・職場>

- 男性50-60代で、性別役割意識（「そう思う」傾向）が強い。
- 「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」は、女性全体でも20%前後しかそう思っていない。
- 「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」は、女性でも年代が高いほど性別役割意識（「そう思う」傾向）が強い。

▶性・年代間で「そう思う」の割合が10ポイント以上差がある項目をピックアップしたのが下図。

性別役割意識 <性・年代別>

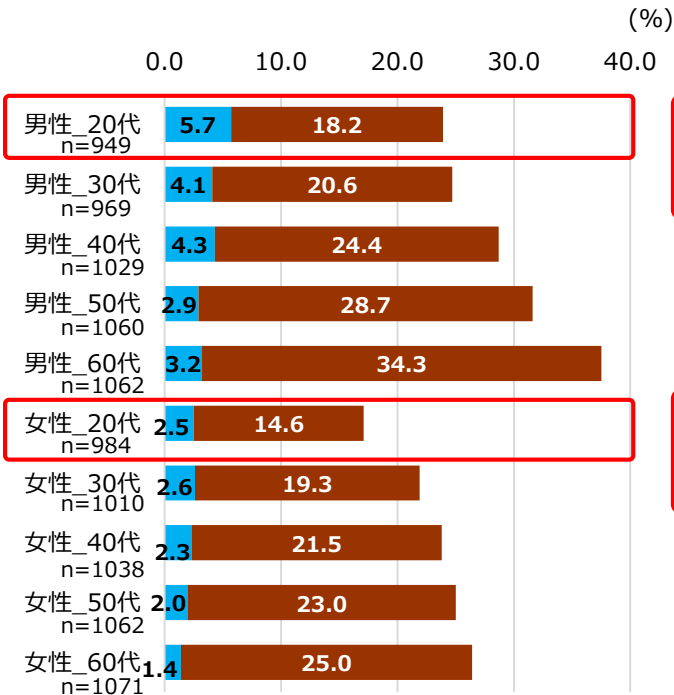


性別役割意識② <性・年代別・家庭・職場>

- 20-30代の男女間で、「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」という性別役割意識（「そう思う」傾向）にギャップがある。
- 「家事・育児は女性がするべきだ」も、20代の男女間で約7ポイントの差がみられる。
- 夫婦の役割分担に関する項目は、女性でも年代が高くなるほど性別役割意識（「そう思う」傾向）が強くなる。

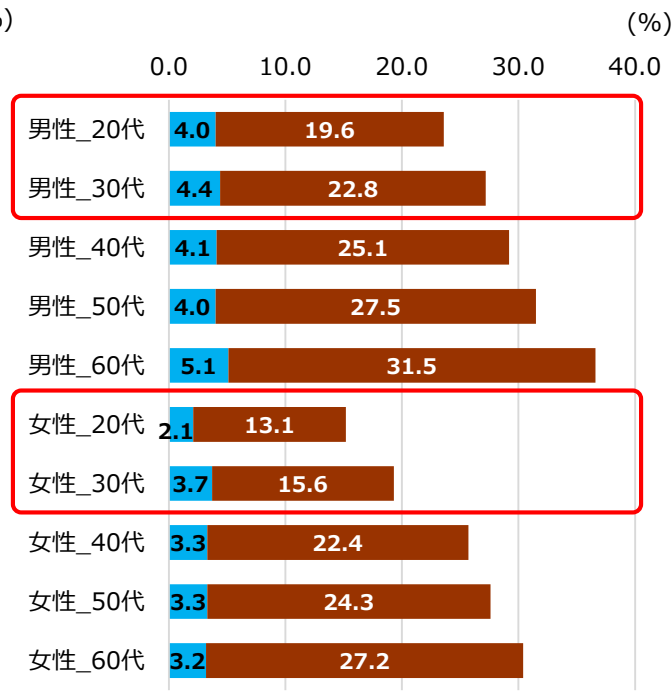
性別役割意識 <性・年代別>

【家事・育児は女性がするべきだ】



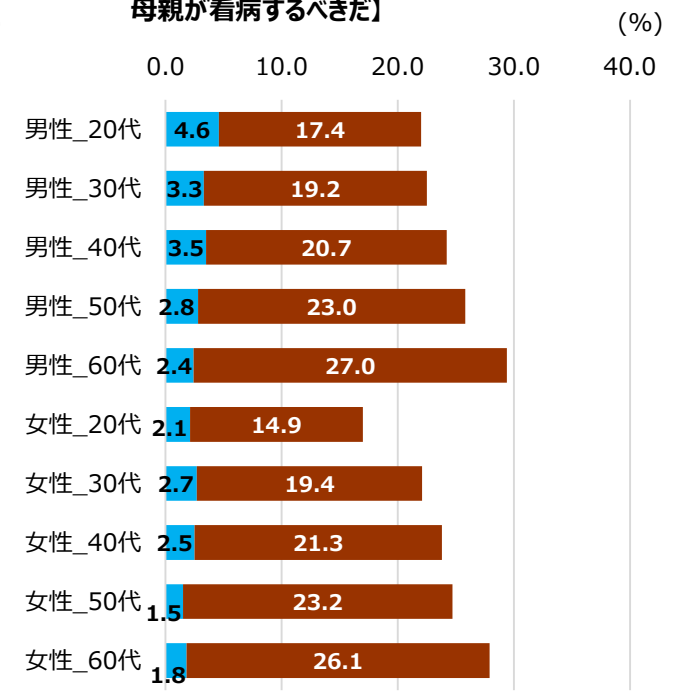
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

【共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ】



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

【共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ】



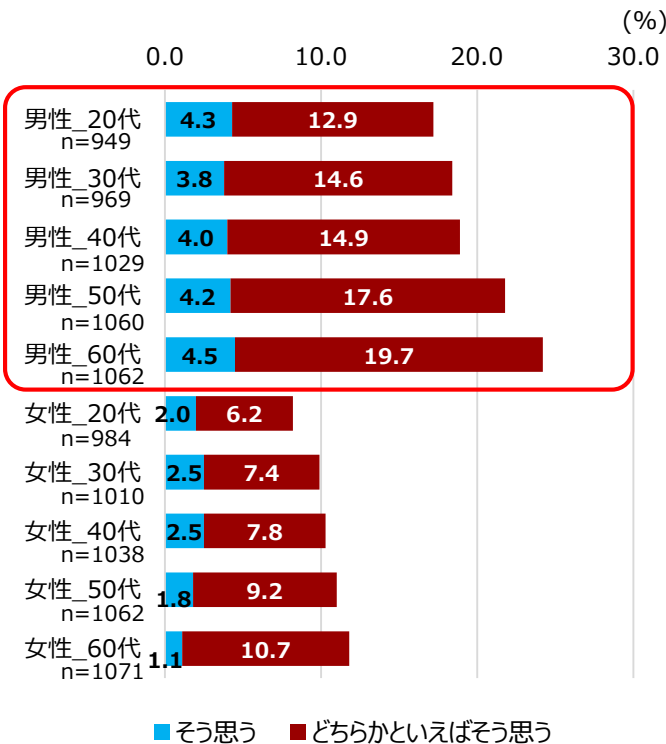
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

性別役割意識③ <性・年代別・職場>

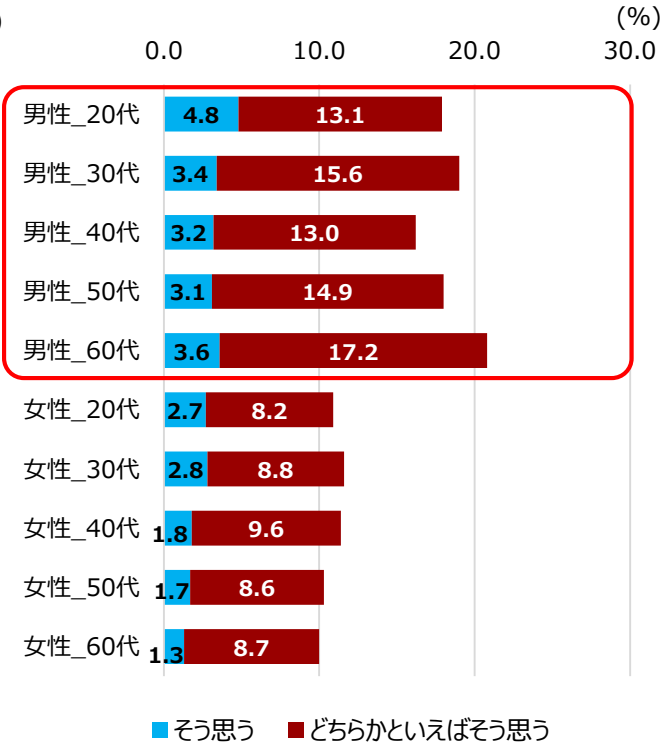
- 職場の役割分担に関する項目は、全ての年代において、女性より男性の方が性別役割意識（「そう思う」傾向）が強い。
- 「同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ」について、特に20代-30代男性の性別役割意識（「そう思う」傾向）が強い。

性別役割意識 <性・年代別>

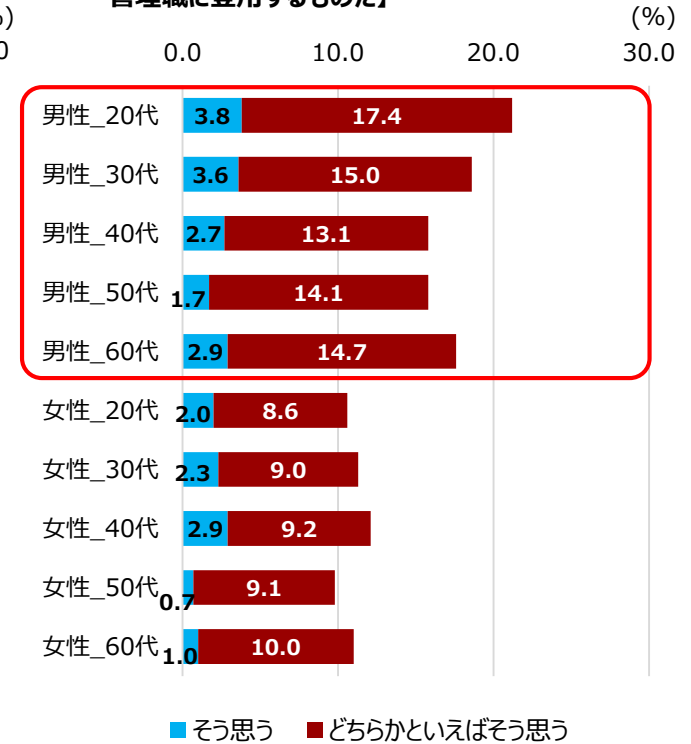
【男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ】



【女性の上司には抵抗がある】



【同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ】

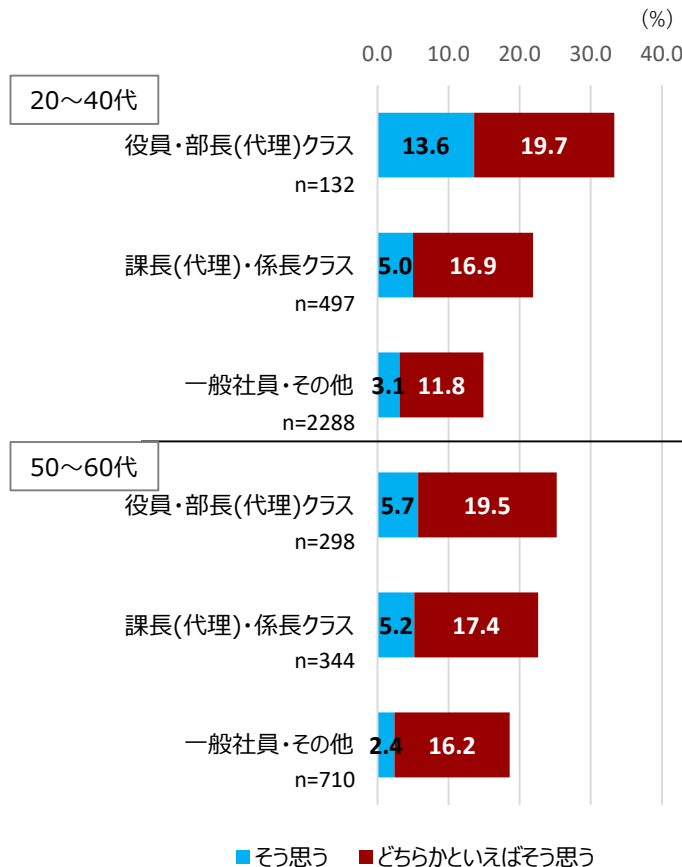


性別役割意識④ <役職別・職場>

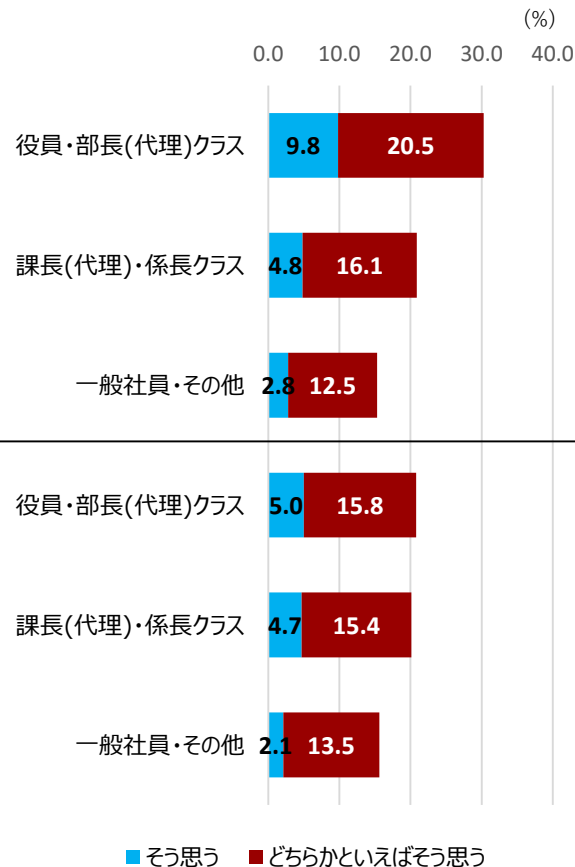
- 職場シーンについて、役職別でみると、役職が高いほど、性別役割意識（「そう思う」傾向）が強い。
- 役員・部長（代理）クラスの性別役割意識（「そう思う」傾向）は、他の階層よりも強くみられる。

性別役割意識 <役職別>

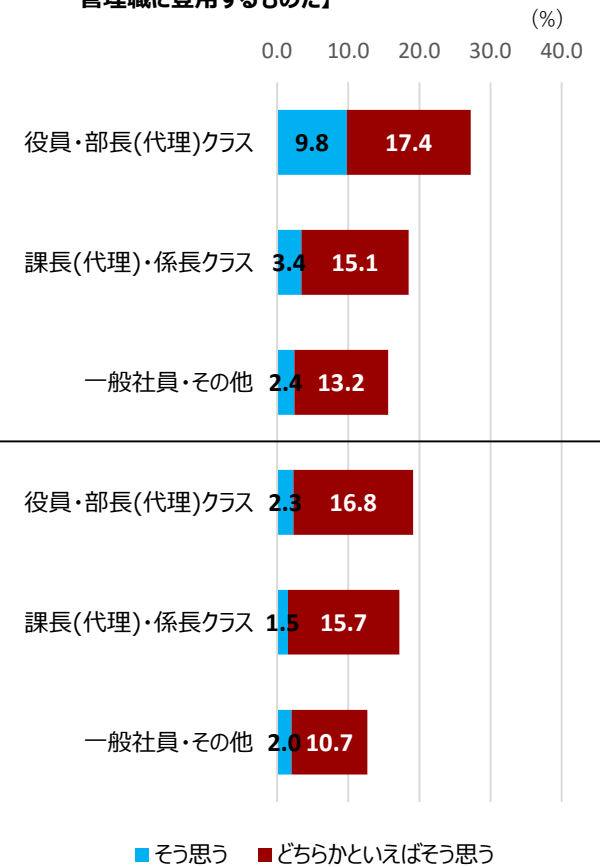
【男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ】



【女性の上司には抵抗がある】



【同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ】





性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験① <家庭・職場>

- 性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験は、「直接言われた経験」よりも「言動や態度から感じた経験」の方が多い。
- 男性より女性の方が、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験があると回答している割合が高い。
- 直接言われた経験では、「女性は感情的になりやすい」「女性には女性らしい感性があるものだ」「女性は論理的に考えられない」「男性は人前で泣くべきではない」など感情に関する考えも上位に入った。
- 女性は、「親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ」「家事・育児は女性がすべきだ」「受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ」「職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い」の4項目について、「直接言われた経験」も「言動や態度から感じた経験」も多かった。

※直接言われた経験と言動や態度から感じた経験についての男女別の上位10項目は、次頁参照。

「親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ」 「家事・育児は女性がすべきだ」
「受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ」 「職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い」

- ▶ 女性は、これらの項目について、「直接言われた経験」「言動や態度から感じた経験」、それぞれ上位項目に挙がっている。
男性は、これらの項目について、「直接言われた経験」よりも、「言動や態度から感じた経験」割合のほうが高い。

家庭・コミュニティシーン

「共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病すべきだ」 「実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がすべきだ」

職場シーン

「女性は男性のサポートにまわるべきだ」

- ▶ これらは、「直接言われた経験」よりも「言動や態度から感じた経験」で男女間に差がみられ、女性の2割が経験している。

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験② <家庭・職場>

直接言われたり聞いたりしたことがある

 男女両方で上位10位に入っている項目

男性 上位10項目	(%)
1 男性は結婚して家庭をもって一人前だ	14.2
2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	13.6
3 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	13.1
4 男性は人前で泣くべきではない	12.5
5 女性には女性らしい感性があるものだ	11.5
6 女性は感情的になりやすい	11.3
7 家を継ぐのは男性であるべきだ	11.1
8 家事・育児は女性がするべきだ	9.4
9 男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	8.8
10 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	8.7

女性 上位10項目	(%)
1 女性は感情的になりやすい	19.9
2 女性には女性らしい感性があるものだ	17.2
3 家事・育児は女性がするべきだ	16.9
4 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	16.3
5 受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	15.7
6 家を継ぐのは男性であるべきだ	15.4
7 男性は結婚して家庭をもって一人前だ	15.1
7 職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	15.1
9 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	14.9
10 女性は論理的に考えられない	14.0

直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある

男性 上位10項目	(%)
1 家事・育児は女性がするべきだ	22.5
2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	21.3
3 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	20.5
4 男性は結婚して家庭をもって一人前だ	20.2
5 受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	19.6
6 女性は感情的になりやすい	19.5
7 女性には女性らしい感性があるものだ	19.4
8 家を継ぐのは男性であるべきだ	18.7
9 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	18.6
9 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	18.6

女性 上位10項目	(%)
1 家事・育児は女性がするべきだ	31.8
2 受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	26.7
3 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	26.2
4 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	26.0
5 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	25.8
6 職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	25.3
7 女性は感情的になりやすい	24.3
8 家を継ぐのは男性であるべきだ	23.9
9 実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	23.8
10 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	23.6

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験③ <性・年代別>

直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある <性・年代別>

(数字は%)

		家事・育児は 女性がするべ きだ	共働きでも 男性は家庭よ りも仕事を優 先するべきだ	共働きで 子どもの具合 が悪くなった時、 母親が看病 するべきだ	親戚や地域 の会合で食事 の準備や配 膳をするのは 女性の役割だ	実の親、義理 の親に関わら ず、親の介護 は女性がする べきだ	職場では、 女性は男性 のサポートにま わるべきだ	受付、接客・ 応対（お茶だ しなど）は女 性の仕事だ	職場での 上司・同僚へ のお茶くみは 女性がする方 が良い
男性_20代	n=949	15.9	13.8	13.8	13.6	12.9	13.5	15.4	14.8
男性_30代	n=969	17.5	15.5	13.8	13.5	12.6	12.3	14.3	13.5
男性_40代	n=1029	21.3	16.9	17.3	17.5	14.4	15.3	17.4	16.5
男性_50代	n=1060	22.3	18.7	19.9	19.3	16.2	14.1	20.0	18.7
男性_60代	n=1062	34.4	27.2	24.9	28.2	23.6	22.1	29.9	27.9
女性_20代	n=984	24.1	13.7	19.1	19.9	14.4	17.1	19.3	18.0
女性_30代	n=1010	27.6	17.9	20.4	19.6	18.6	18.5	22.1	18.9
女性_40代	n=1038	31.5	22.0	22.7	24.1	22.9	20.1	23.0	22.7
女性_50代	n=1062	34.7	28.5	31.6	31.6	29.8	28.3	32.7	31.1
女性_60代	n=1071	40.4	33.9	34.2	33.8	32.3	31.6	35.5	34.9

性別役割を感じさせた人＜性・本人との関係属性＞

- 男性に性別役割や思い込みについて「直接言ったり、言動や態度から感じさせた」のは、「父親」「男性の知人・友人」が多い。
⇒家庭・コミュニティシーン、職場シーンにかかわらず影響を与えている。
- 職場シーンにおいては、男女とも「男性の職場の上司」から性別役割を感じさせられた経験がある。
- 女性は家事分担や、職場・働き方のいずれについても「配偶者・パートナー」からも性別役割を感じさせられた経験がある。

性別役割を言ったり、言動を感じさせた人

男性		36項目中
父親	1 位に上げられた項目数	27項目
男性の知人・友人	2 位に上げられた項目数	25項目
男性の職場の上司	3 位に上げられた項目数	14項目
母親	3 位に上げられた項目数	10項目
女性		36項目中
男性の職場の上司	1 位に上げられた項目数	13項目
配偶者・パートナー	1 位に上げられた項目数	10項目
	2 位に上げられた項目数	14項目
父親	1 位に上げられた項目数	7 項目



性別役割経験～自由回答より～①<家庭_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
家事・育児は女性がするべきだ	自分が直接言われたわけではないが、「やっぱり子どもが熱出したらお母さんが看病するよねー」ということがサラッと会話に出てきた。悪気があって言ってるわけでも、男性への不満ということでもなく、それが普通という感じだった。	女性_20代
	出産をしたのですが、家事育児は女性がやるものだ、旦那と義母から言われました。復職を考えているのですが、女は家を守れと言われ、まだできていません。	女性_20代
	我が家は共働き、二人とも働いているので、家事も分担すべきと話し合っ、お互い協力しあっているつもりだが、親戚の人に女が家のことをしないなんてありえないと言われた	女性_40代
男性が洗濯物を干すのはみっともない	洗濯物の出し入れをしている時に母親からあなたそんな事しているのかとみっともないと言われた。	男性_60代
家を継ぐのは男性であるべきだ	親戚の集まりで、叔父がわたしは女性なので家を継いだり仏壇を守ることではできないと発言した。	女性_20代
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	男なら、早く結婚して所帯を持つべきだと高齢者にいわれた	男性_20代
	職場の上司に男だったら家庭を持って一人前と言われました。	男性_30代
結婚したら姓を変えるのは女性であるべきだ	当たり前のように、彼氏に結婚したら僕の名字になるからね、と言われた。	女性_20代
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	上司から男はいくら稼いでいるかで価値が変わると言われた	男性_40代
	仕事を辞めることを検討していると親に相談したら、男のくせに、といわれた。	男性_50代

性別役割経験～自由回答より～② <家庭_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	子どもが入院した時に、男の私が会社を休んで看病に就いたら、父親に不満を言われた	男性_30代
	子どもを病院に連れて行ったら、病院の待合室で看護師さんにお母さんは今日来ていませんか？と聞かれたことがある。	男性_30代
PTAには、女性が参加するべきだ	町内の集まりでは男性の、PTAなどの集まりでは女性の名前が、当然のように記入する場面。	女性_50代
自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ	自治会長を選ぶときに、「男性が会長、女性が副会長」と最初に議長から言われた。またその集会の際、女性は早く来て お茶の準備をするように言われた。	女性_60代
	町内会の会長、副会長 など決める際、男性であるべきだと 男性からも女性からも発言があった。男性の方が威厳があるからだという理由だった。時代にずれていると思った	女性_60代
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	義理の父が入院したときに、私も仕事をしているのに「身の回りの世話は女性がやるべきだ」と配偶者に言われた。	女性_40代
	親の介護で休職願いを提出した時に、配偶者に任せるべきだと指摘された。	男性_50代
デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	デートの時に割り勘をするかどうかという話のときに、知人から男なら払うのが当たり前と言われた。	男性_20代

性別役割経験～自由回答より～③ <家庭_測定項目以外>

項目	自由回答	性・年代
女性には高い学歴やキャリアは必要ない	女性だから結婚して出産するのだから、大学に行かなくても良いと親や親戚から言われた。	女性_20代
	進学希望だが、進学した場合に社会に出るのが24歳になってしまうので結婚や出産のことを考えるとさっさと就職した方が良いのではないかと女性の親戚に言われた。	女性_20代
女性は女性らしい服装をするべきだ	アルバイトでスーツを着るのに「女性らしくスカートで」と言われた。	女性_30代
女性は女性らしいふるまいをするべきだ	義母に女性らしくしなさい。女性なんだから。と言われることが多かった。	女性_20代
	女性なんだからお淑やかに、と行動について上司に遠回しに言われた	女性_20代
女性は仕事より家庭を優先することができる/するべきだ	結婚するとやっぱり女性だから家に入るものだと言われ相手方の両親からいわれた	女性_20代
	体調を崩し、治療が必要となったため、身体の負担を軽くしたいと仕事を在宅ワークに職変えしようかと考え始めた去年、上司にそれを相談したら「女性だから良いんじゃない？ 所詮、即戦力の稼ぎではないし」と言われて腹立って、結局辞めずに今に至ってたりします。	女性_30代
女性は男性よりも立場が下である	女性なのだから男性の話を聞くのは当たり前だ、女性なのだから正座できて当たり前だと言われた	女性_20代
女性は主張しすぎないほうが良い、控えめであるほうが良い	女性だから意見を言うなと言われた	女性_30代
	会議でしっかりした発言している女性は気が強いと決めつける男性がいた	女性_40代

性別役割経験～自由回答より～④ <職場_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	女性社員は仕事が忙しく、その時暇そうな男性社員がお茶出ししたら女性に出させるように言われた	女性_20代
	職場での待遇 掃除、お茶だしなど、女性だからという理由で役職関係なく指示される	女性_20代
	会社の社長に来客があった時、普段お茶を出している総務部の女性がたまたま休みで、総務部長が『男がお客さんにお茶を出すのはみっともないし、向こうも気分良くないだろうから女性がお茶を出して』とまったく別部署の女性にお茶出しを要請に来た。	女性_50代
	表彰式の介添えを若い男性職員に頼もうとしたら、男性上司から「男女平等だからって無理して男性を使わなくても普通でいいんじゃない。男性職員がかわいそうでしょ」と反対され、介添えは年配の女性職員がやることになった。	女性_60代
職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	上司へのお茶出しは女性がやった方がうけがいいよと言われたこと。	女性_20代
転勤は男性がするものだ	仕事で、女性と男性の上司から「女性だから家庭の事情で遠い地への勤務は難しい」というようなニュアンスを含んだことを言われた。要するに私に遠い勤務地に行くようなことを言われた。	男性_40代
男性なら残業や休日出勤するのは当たり前だ	男性だから仕事を遅くまで残って頑張りなさいと上司から言われた。	男性_30代
	上司から休日出勤やサービス残業は、男なら当たり前だといわれたことがある。	男性_40代
女性の上司には抵抗がある	女性の役席者と仕事をしたいと男性上司に言われた。	女性_30代
	4月に公民館館長になった時に部下から館長は男性の方が受け入れやすいと言われた	女性_60代
女性社員の昇格や管理職への登用のための教育・訓練は必要ない	女性だから結婚妊娠の可能性があり、仕事に有利な研修会を受けさせてもらえなかった。	女性_20代

性別役割経験～自由回答より～⑤ <その他_測定項目>

測定項目	自由回答	性・年代
女性 is 感情的になりやすい	仕事の際、男性の同僚から「女性は感情的に物事を考えて行動する」と言われたことがある。	女性_40代
	悔しいことがあり涙が出てしまい女性だからすぐ感情的になり泣くと言われた	女性_60代
女性 is 論理的に考えられない	会議で意見を出した際、これだから女はこうだという旨の事を上司から言われた	女性_30代
	会議が全員男性でやりやすくなったといわれた	女性_50代
男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない	私が友人に「旦那は細かいところまで気がきかなくて、結局家事は私がやることになる」と愚痴を言ったら、「男の人だからそこまで気が回らなくて当然だよ。仕方ないよ。」と言われた。	女性_30代
男性は人前で泣くべきではない	夫が息子に「男のくせに泣くな」と言うのを聞いて、違和感を感じた。	女性_30代
女性には女性らしい感性があるものだ	女性視点での企画を考えて欲しいと言われると困る	女性_30代
	管理職面接で、女性の細やかさを生かして頑張るって欲しいと言われた。	女性_60代



性別役割経験～自由回答より～④ <職場/その他_測定項目以外>

項目	自由回答	性・年代
男性/女性がすべき職業がある	派遣で行ったイベントスタッフの現場で、「受付は女性スタッフしか認めません。」と運営から言われた。	女性_20代
	事務職の応募で男性だからと落とされる	女性_20代
	女性には女性の、男性には男性の仕事があるから他の人の仕事をしたらだめと先輩女性上司に	女性_40代
男性は女性に負けてはいけないものだ	営業の数字が採れず、同期の女性に数字が負けていた際に、上司から「男なら女より数字を採れ。負けて恥ずかしいのか。」と叱責された。	男性_20代
メディア	女性だから仕事を辞めて子育てに専念したり、育休を進んで取らなければいけないというニュースをみた。そこで思ったのは、日本の古い考え方である。男性だからというのではなく、日本自体が少子化なのだから進んでどちらも支え合うべきではないかと私は思いました。	女性_20代

地域における性別役割経験① <女性～地域からの移動有無～>

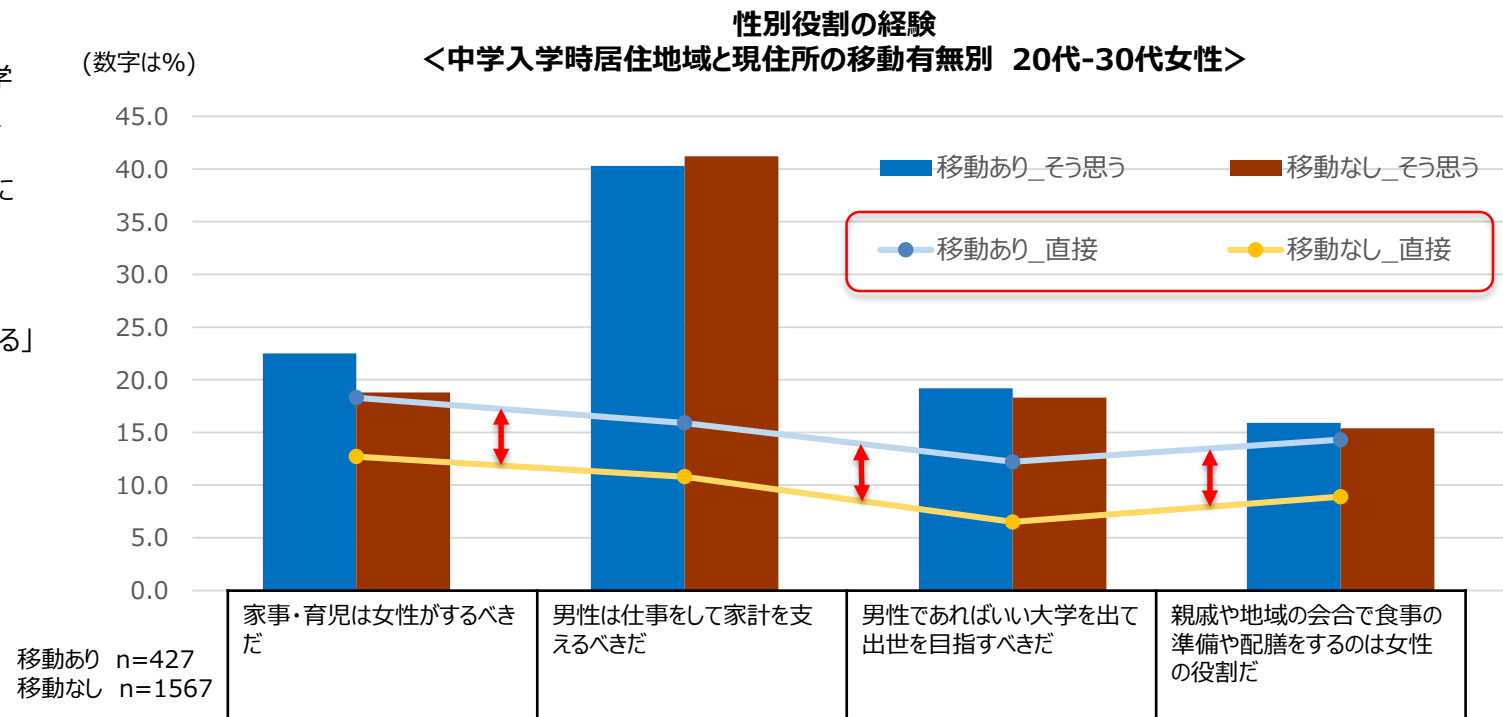
- 地元を離れた20代-30代女性は、家庭・コミュニティにおける性別役割について「直接言われた」経験の割合が高い。

性別役割に成長過程における環境が与える影響を見るために、中学入学時点での居住地と現在の居住地の移動の有無別に、20代-30代女性の意識と「直接言われた」経験についてみたのが下図。

意識の違いは見られないが、「直接言われた」経験は、地元を離れた層（移動あり）で約6ポイント高くなっている。

- 移動あり：
現在住んでいる都道府県と中学入学時に住んでいた都道府県が異なる人
- 移動なし：
現在も中学入学時と同じ都道府県に住んでいる人
- 直接：
「直接言われたり聞いたりしたことがある」の回答割合

（数表を次頁に掲載）



地域における性別役割経験① <女性～地域からの移動有無～>

性別役割の経験
<中学入学時居住地域と現住所の移動有無別 20代-30代女性>

(数字は%)		家事・育児は 女性がするべきだ	男性は仕事をして 家計を支えるべきだ	男性であれば いい大学を出て 出世を目指すべきだ	親戚や地域の会合で 食事の準備や配膳をす るのは女性の役割だ
移動あり (n = 427)	そう思う	22.5	40.3	19.2	15.9
	直接	18.3	15.9	12.2	14.3
	間接	26.2	20.4	11.9	19.0
移動なし (n=1567)	そう思う	18.8	41.2	18.3	15.4
	直接	12.7	10.8	6.5	8.9
	間接	25.8	20.9	14.5	20.0

地域における性別役割経験② <性別・住民のつながりの強さ>

- 地域の住民のつながりが強いと回答した女性は、性別役割を「直接言われた経験」、また、「言動や態度から感じた経験（間接経験）」の割合が高く、性別役割意識（「そう思う」傾向）も強くなる。

■ 強かった計：

（数字は％）

中学入学時に住んでいた地域での住民のつながりについて「強かった」「やや強かった」の回答合計

■ 強くなかった計：

同じく「あまり強くなかった」「強くなかった」の回答合計

■ 直接：

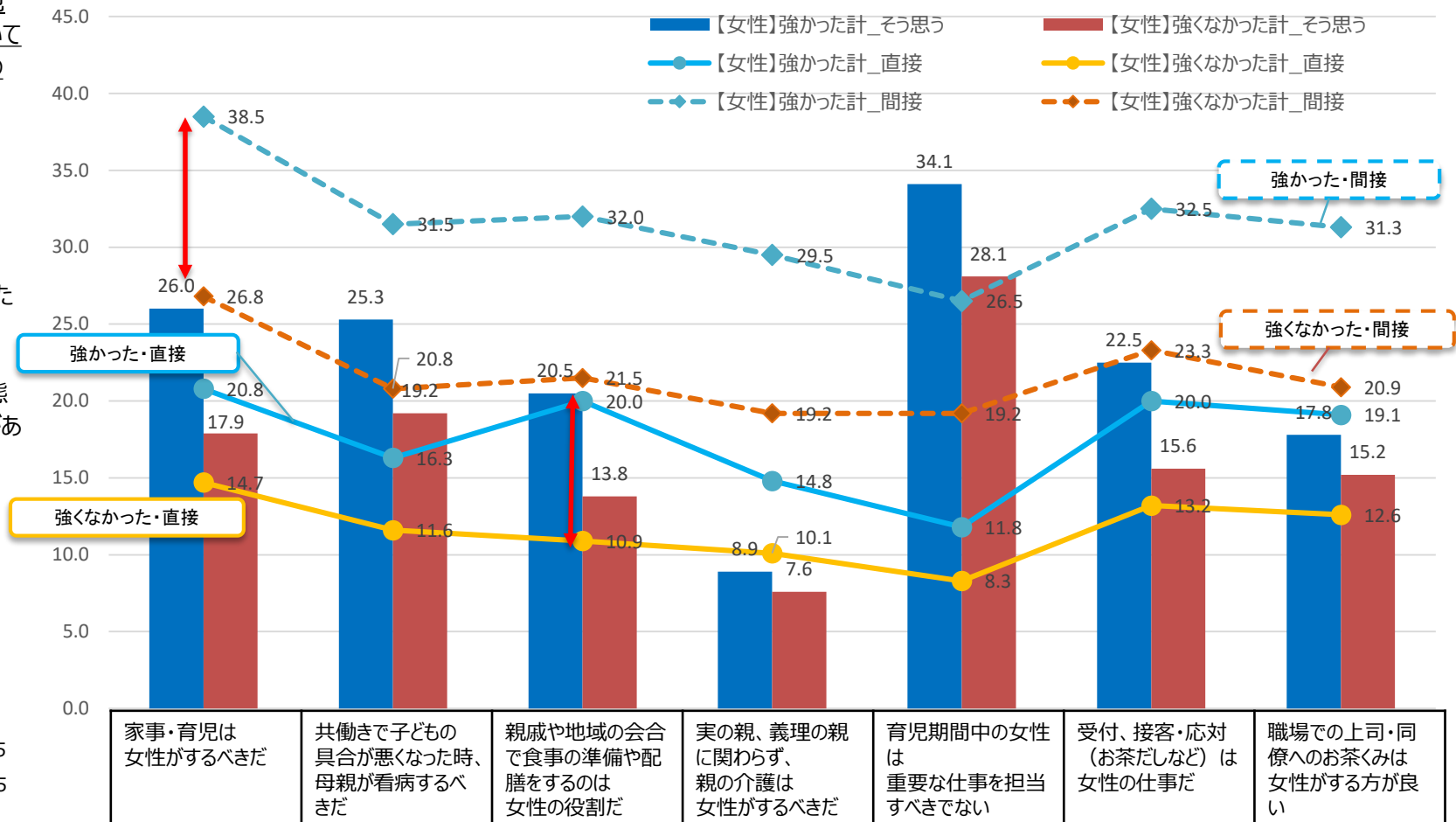
「直接言われたり聞いたりしたことがある」の回答割合

■ 間接：

「直接ではないが、言動や態度からそのように感じたことがある」の回答割合

（数表を次頁に掲載）

性別役割の経験
<中学入学時居住地域の住民のつながりの強さ別・女性>



強かった計 n=2325

強くなかった計 n= 965

地域における性別役割経験② <性別・住民のつながりの強さ>

性別役割の経験
<中学入学時居住地域の住民のつながりの強さ別>

(数字は%)			家事・育児は女性がするべきだ	共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	受付、接客・応対（お茶だしなど）は女性の仕事だ	職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い
男性	強かった計 n=2074	そう思う	33.1	28.2	28.9	17.8	35.8	29.6	25.2
		直接	12.6	9.5	9.4	7.8	8.3	10.5	10.5
		間接	28.7	22.9	24.3	20.4	21.8	26.0	23.9
	強くなかった計 n= 936	そう思う	26.2	23.5	20.1	13.0	31.2	21.6	20.4
		直接	9.0	6.4	5.8	4.4	6.1	6.2	5.2
		間接	19.9	15.3	15.1	13.8	13.6	15.1	15.7
女性	強かった計 n=2325	そう思う	26.0	25.3	20.5	8.9	34.1	22.5	17.8
		直接	20.8	16.3	20.0	14.8	11.8	20.0	19.1
		間接	38.5	31.5	32.0	29.5	26.5	32.5	31.3
	強くなかった計 n= 965	そう思う	17.9	19.2	13.8	7.6	28.1	15.6	15.2
		直接	14.7	11.6	10.9	10.1	8.3	13.2	12.6
		間接	26.8	20.8	21.5	19.2	19.2	23.3	20.9

地域における性別役割経験～自由回答より～

項目	自由回答	性・年代
地域/地元に関連すること	葬式や法事などで地元に戻ると、男性は食べて飲むだけだが、女性で若いと、自分から仕事を見つけて動くくらいの積極性や気配りを見せないと、親戚からの評価が下がる。食事の準備や片付けが嫌いなわけではないが、年配の叔母などからの同調圧力にイライラする。	女性_20代
	女性だから地元から離れるべきではないと親戚の人から言われました。	女性_20代
	実家に帰省しているとき、女だから家事を手伝いなさい。女だから外仕事はしなくていい、と言われた。新しい仕事を始めたときに、女だから優しく教えている、男にはもっと強く当たるからすぐ辞めてしまうとされた。	女性_20代
	帰省していた時に祖母から、後は結婚と子どもはあなただけだねと言われた。私は三姉妹の長女で、妹たちはそれぞれ結婚出産をしていて、後は残ってる私だけだから、相手連れて来て結婚と子供を見せろと言われた。女性だから、他のメンバーがそうしてるから追従しろというのは横暴だし暴言だと思っ、こちらの意志や意見は無視というのがとても嫌悪感を感じる。自分の意思で結婚や出産をしないという決断や選択をする人もいると、いうことを理解できない独りよがりのお節介がとても嫌。	女性_30代
	男性の親戚に会う度に結婚はまだか、子どもは産まないのかと言われ続ける。また、遠方に住む未婚の弟がいるのだが、その弟についても、まだ実家に戻らないのか、まだ嫁は貰わないのか、跡継ぎはどうするのだと言われ続けられる。	女性_40代
	九州地方に戻ってからのほうが違和感を感じることを悪気なく行っている人を多く見る。さらにそれに同調する女性が多くて驚いている。	女性_40代
	男は仕事して女は家を守ればいいと葬儀の準備の時に親戚のおじさんたちが言っていたこと 女は男の言う事を聞いていれば良いと言われた昔の考えかたで今は違うと思う	女性_50代

メディアにおける性別役割の影響

- メディアで見たり聞いたりすることが多いのは、「女性は感情的になりやすい」「女性は論理的に考えられない」。
- 女性では「男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない」も多い。

■メディア計：
「テレビや雑誌、インターネットなどのメディアで見
たことがある」の回答割合

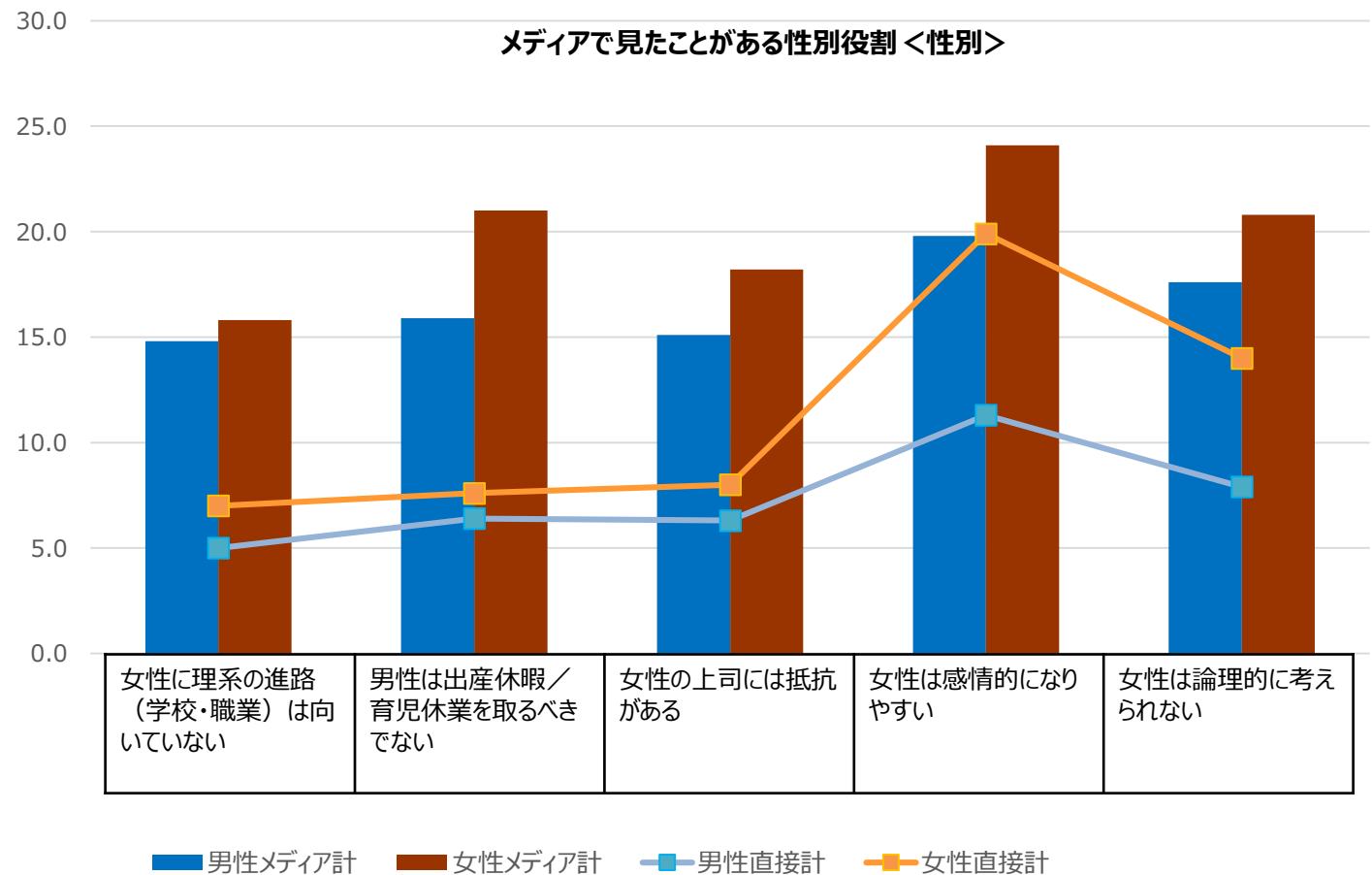
■直接
「直接言われたり聞いたりしたことがある」の回答
割合

(数表を次頁に掲載)

(数字は%)

男性 n=5069

女性 n=5165



メディアで見たことがある性別役割 <性別>

(数字は%)

		女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない	男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない	女性の上司には抵抗がある	女性は感情的になりやすい	女性は論理的に考えられない
男性 (n=5069)	直接計	5.0	6.4	6.3	11.3	7.9
	間接計	12.4	16.2	14.4	19.5	15.7
	メディア計	14.8	15.9	15.1	19.8	17.6
女性 (n=5165)	直接計	7.0	7.6	8.0	19.9	14.0
	間接計	14.1	19.4	17.2	24.3	20.4
	メディア計	15.8	21.0	18.2	24.1	20.8

